

調査研究および情報提供事業等に必要な経費

情報センター事業費

1. 催し等事業費

- (1) 国内連携促進

2. 文化資料事業費

- (1) 定期刊行物
- (2) 年次報告
- (3) インターネットによる情報発信
- (4) JFサポーターズクラブ

3. 調査研究費

- (1) 情報センター（JFIC）事業
- (2) 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞）
- (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

情報センター事業費

1. 催し等事業費	(1)国内連携促進
-----------	-----------

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的とした情報収集、フェスティバルへの協力、セミナー開催を行う。

合計額 8,289,189円

	事業名	期間	事業内容
1	地域との連絡調整	06.04.01～ 07.03.31	国内ネットワークの拡大と国内における認知度の向上を目的として、地方拠点3ヵ所を選定し、JF国内ネットワーク職員を任命し、地方のニーズを把握するとともに、企画開発型事業の企画や地方レベルの事業展開を推進する
2	国際交流フェスティバル	06.04.01～ 07.03.31	全国各地で開催される国際交流フェスティバルにて、ブース出展、セミナー実施。仙台、金沢、東京、横浜、埼玉、名古屋、大阪、福岡他。
3	ジュード・ケリー トーク・セッション	07.03.05	サウス・バンク・センターの芸術監督であり、現代英国において最も注目されている有識者の一人であるJude Kelly氏による都市での文化振興に関する講演会。(共催：ブリティッシュカウンシル)

2. 文化資料事業費	(1)定期刊行物
------------	----------

国際文化交流に関する専門誌『をちこち(遠近)』(和文)を、隔月にて発行する。

合計額 43,699,370円

	事業名	制作・発行日	部数	期間	事業内容
1	遠近10号	06.04.01	6000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』10号(2006年4月1日発行)発行に係る経費
2	遠近11号	06.06.01	6000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』11号(2006年6月1日発行)発行に係る経費
3	遠近12号	06.08.01	8000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』12号(2006年8月1日発行)発行に係る経費
4	遠近13号	06.10.01	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』13号(2006年10月1日発行)発行に係る経費
5	遠近14号	06.12.01	6000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』14号(2006年12月1日発行)発行に係る経費
6	遠近15号	07.02.01	6500	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』15号(2007年2月1日発行)発行に係る経費
7	遠近16号	07.04.01	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』16号(2007年4月1日発行)発行に係る経費

	事業名	制作・発行日	部数	期間	事業内容
8	をちこち17号	07.06.01	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『をちこち』17号(2007年6月1日発行)発行に係る経費

2. 文化資料事業費 (2) 年次報告

年度ごとに総括を報告する年報を発行する。

合計額 21,857,139円

	事業名	部数	期間	事業内容
1	和文年報 2005年度	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金の2005年度事業に関する和文年報の作成
2	英文年報 2005年度	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金の2005年度事業に関する英文年報の作成
3	2005年度事業実績		06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金2005年度事業に関する事業実績の作成、公開
4	30周年記念誌	1000	06.04.01～ 06.05.31	「国際交流基金30年の歩み」の出版

2. 文化資料事業費 (3) インターネットによる情報発信

ウェブサイト、eメールマガジンを通じて、プログラムガイドライン等も含めた国際交流基金の各種事業や、国際文化交流に資する情報提供を行なう。

合計額 7,652,032円

	事業名	期間	事業内容
1	ウェブサイト	06.04.01～ 07.03.31	ジャパンファウンデーションの事業に関する情報、公募事業の案内および申請書類、その他お知らせ等をインターネット上で提供。URL: http://www.jpff.go.jp
2	メールマガジン	06.04.01～ 07.03.31	ジャパンファウンデーションの事業に関する情報をメールマガジン(和・英)で配信。
3	動画配信	06.10.01～ 07.03.31	ジャパンファウンデーションのウェブサイト上で文化芸術の活動、知的交流のセミナー、シンポジウム等の映像ファイルを公開。

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 (4) JF サポーターズクラブ

年間一定額の寄附金を年会費として支払った個人に対し、基金に関する情報を提供。

合計額 21,894,014円

	事業名	期間	事業内容
1	サポーターズクラブ会員専用ウェブサイトの運営、イベントの実施	06.04.01～ 07.03.31	サポーターズクラブ会員専用ウェブサイトで情報提供を行い、又、会員向けイベントの実施

3. 調査研究費 (1)情報センター (JFIC) 事業

国際交流に関する情報、日本に関する情報を提供するため情報センターライブラリーを含む、一般の人々に開かれた情報センターを運営する。

合計額 57,608,067円

	事業名	事業内容
1	JFICライブラリー運営	図書450冊、雑誌90誌、視聴覚資料70点、マイクロ資料120点を備えるライブラリーの運営
2	JFICイベント	JFICオープニング記念イベント。2006年4月22日、映画『パッチギ』のプロデューサー・シネカノン代表李鳳宇（イ・ボンウ）講演会。2006年4月28日、駐日大使対談「私と日本語との出会い」。他国際文化交流に関するイベントを開催

3. 調査研究費 (2)国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞)

学問、芸術その他の文化活動を通じて、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人、団体などに対しその功績を顕彰する。

合計額 29,488,434円

	種別	受賞者(現職)・授賞団体	国	事業内容
1	国際交流基金賞	ジョー&悦子・プライス(財団 心遠館代表)	米国	永年にわたる江戸期日本美術の収集とその研究及び研究者への支援を通じて日本と諸外国との文化交流のための多大な貢献と功績に対し、国際交流基金賞を授与。
2	国際交流奨励賞・文化芸術交流賞	山形国際ドキュメンタリー映画国際実行委員会	日本	優れたドキュメンタリー映画の紹介と世界の映像作家の交流に力を尽くし映像を通じた国際理解の促進に貢献。その功績と今後の更なる貢献に期待し、国際交流奨励賞・文化芸術交流賞を授与。
3	国際交流奨励賞・日本語教育賞	サンクトペテルスブルク国立大学アジア・アフリカ学部	ロシア	ロシアにおいて最も伝統ある日本語教育機関として優秀な人材を輩出した功績と、日本語教育300年を迎えた機会に授与。
4	国際交流奨励賞・日本研究賞	金 容徳(ソウル大学校国際大学院院長)	韓国	日本研究者として優れた学術的業績をあげるとともに、日韓の相互理解の促進に多大な貢献があった。その功績に対し、国際交流奨励賞・日本研究賞を授与。

3. 調査研究費 (3) 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)

国内各地で行なわれている地域に根ざした国際交流活動を促進するために、この分野で活躍している国内団体、個人を顕彰する。

合計額 12,885,090円

	受賞者(団体)名・事業名	場所	事業内容
1	特定非営利活動法人ジュニア・グローバル・トレーニング・スクール実行委員会	青森県青森市	毎年8月、日本、米国、韓国、ロシアの小学生100人が集まり、青森市内の小学校を宿舎に2泊3日で、国境を超えた友情をはぐくむ共同生活やねぶた祭りを体験する活動。国際交流体験を通じて地球市民ジュニアの育成を目的としている活動に対し、「地球市民賞」を授与。
2	特定非営利活動法人多文化共生センター東京	東京都荒川区	学校に行きたくても行けない外国籍のこどもたちのたぶんかフリースクール、高校進学を希望する親子のための進路・教育相談、多文化子育てネットワークなど、多文化の背景を持つこどもたちの教育と家族の問題に特化した活動を行なっている同団体に対し、「地球市民賞」を授与。
3	特定非営利活動法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク	京都府京都市	一般市民にとってなじみにくい身体表現活動であったコンテンポラリーダンスを日本各地に広め、各地に潜在するダンサーを発掘し、日本各地および世界の舞台上で踊る機会を提供。京都を拠点とし、日本と海外のダンサーたちによる共同創作のコーディネーション、あるいは日本の振付家／ダンサーや劇場・評論家などコンテンポラリーダンスに関わる人々の連絡先や活動についての情報発信を活発に行なうなど、日本と世界をつなぐネットワークとなっている同団体に対し、「地球市民賞」を授与。